

平面図
藤枝市 岡部町三輪 地内

S=1:500 (S=1:1000)

基準点座標一覧表

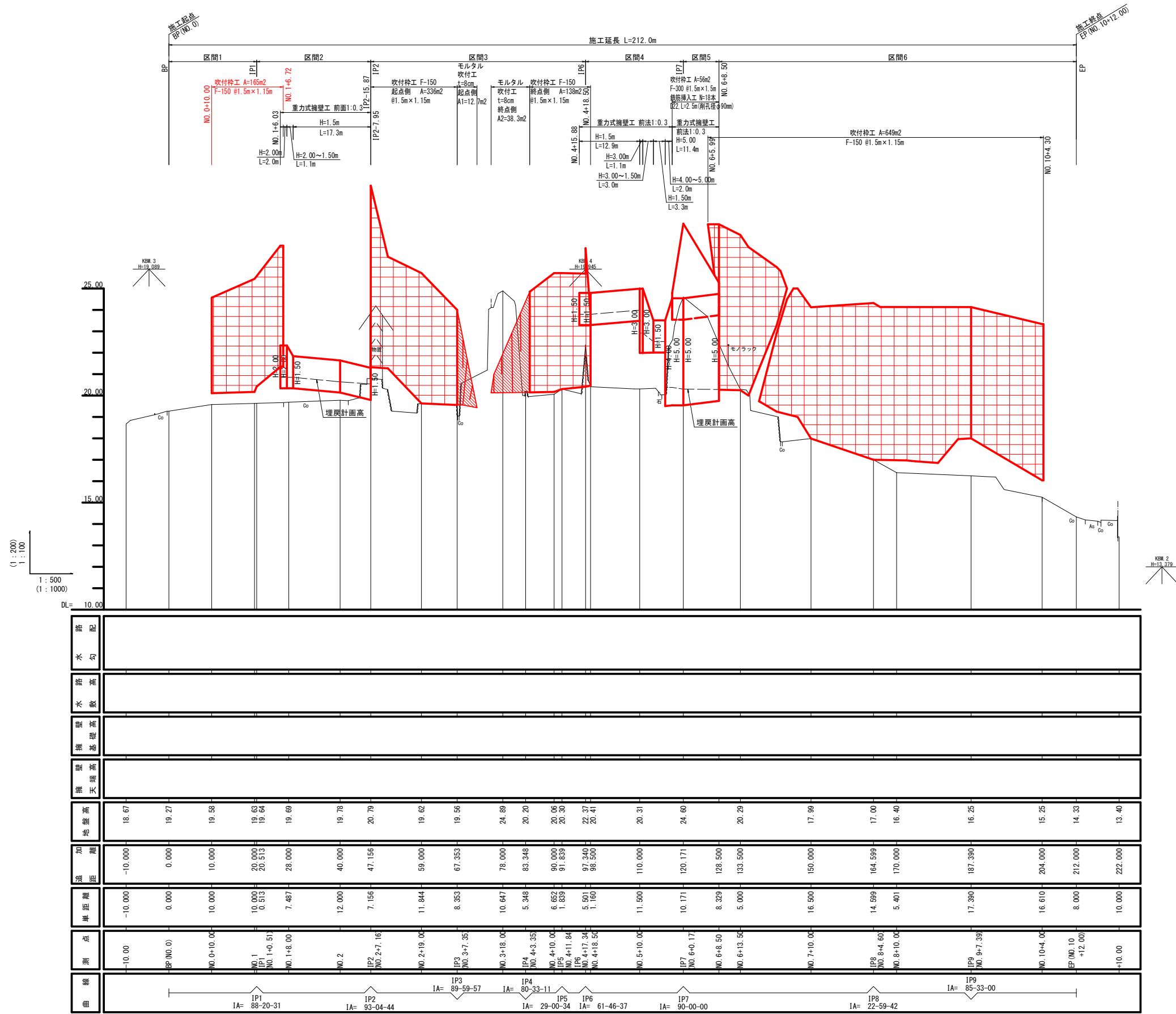
点 名	X座標	Y座標
T1	1000.000	1000.000
T2	955.978	1005.416
T3	932.523	1029.518
T4	886.001	1052.057
T5	912.378	1128.473
T6	911.519	1179.587
T7	940.196	1213.033
T8	980.778	1231.574
T9	1003.886	1225.121
T10	1030.544	1189.712
T11	1054.030	1178.688
T12	1061.337	1133.994
T13	1047.466	1107.280
T14	1048.122	1071.035
T15	1005.767	1047.868
T16	1035.045	1005.425
T17	937.539	1062.392
T18	920.846	1089.566
T19	981.548	1100.458
T20	1012.870	1075.017
T21	990.000	1054.608
T22	966.630	1029.963
T23	957.915	1064.866
T24	955.817	1086.541
T25	947.676	1110.229
T26	968.332	1108.391
T27	971.628	1090.352
T28	977.880	1160.756

中心線座標一覧表

点 名	X座標	Y座標
BP (NO.0)	993.128	1057.182
IP1	1008.176	1071.122
IP2	990.643	1091.183
IP3	976.171	1077.094
IP4	965.113	1088.555
IP5	970.042	1095.396
IP6	970.742	1100.852
IP7	952.163	1114.121
IP8	926.342	1077.967
IP9	921.394	1055.720
EP (NO.12+10.00)	897.029	1059.183
NO.0+10.00	1000.464	1063.978
NO.1	1007.800	1070.774
NO.1+8.00	1003.249	1076.759
NO.2	995.352	1085.795
NO.2+19.00	982.156	1082.921
NO.3+18.00	968.744	1084.723
NO.4+10.00	968.953	1093.915
NO.4+18.50	969.798	1101.526
NO.5+10.00	960.440	1108.210
NO.6+13.50	944.416	1103.274
NO.7+10.00	934.827	1089.847
NO.8+10.00	925.169	1072.695
NO.10+4.00	904.949	1058.057
IP2+7.50	996.017	1096.415

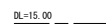
工 事 名	令和8年度（県費） 三輪佐護神ノ谷急傾斜地崩壊対策工事		
工 事 箇 所	藤枝市 岡部町三輪 地内		
図面の種類	平面図		
縮 尺	1：500 (1：1000) ()内はA3縮小時	図面番号	10 葉中 1
測量年月日	設計年月日 R8.6		
事 務 所 名	藤枝市 都市建設部 基盤整備局 河川課		

縦断面図 V=1:100 (V=1:200)
H=1:500 (H=1:1000)

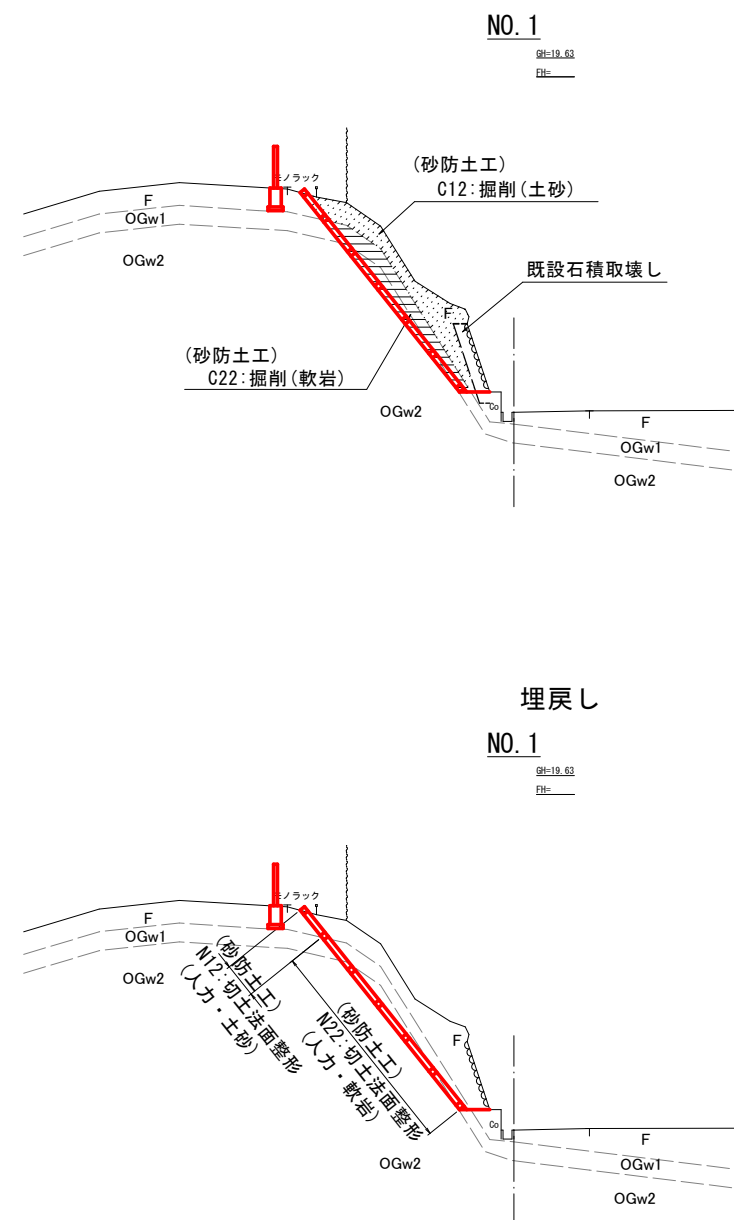


工 事 名	令和8年度(県費) 三輪佐護神ノ谷急傾斜地崩壊対策工事		
工 事 箇 所	藤枝市 岡部町三輪 地内		
図 面 の 種 類	縦断面図		
縮 尺	V=1:100 (1:200) H=1:500 (1:1000) ()内はA3縮小時	図面番号	10 集中 2
測量年月日		設計年月日	R8.6
事 務 所 名	藤枝市 都市建設部 基盤整備局 河川課		

区間1
BP (NO. 0) ~ IP1 (NO. 1+0. 51)



掘削・床掘



地質時代			地層名	地層名	記号	簡易動的コーン貫入試験			ボーリング調査	備考
						実測N値	換算N値	実測N値		
新生代	第四紀	全新世	表土	粘土・礫混じり粘土	F	1~18	1~12	※ 3~6	不安定地盤	
	新第三紀	中新世	大井川層群	強風化礫岩	OGw1	11~47	7~31	13.5~50以上	安定地盤	
				風化礫岩	OGw2	56~250	37~167	68.2~187.5		

※地層境界は、各調査地点の地層分布からの推定線である。

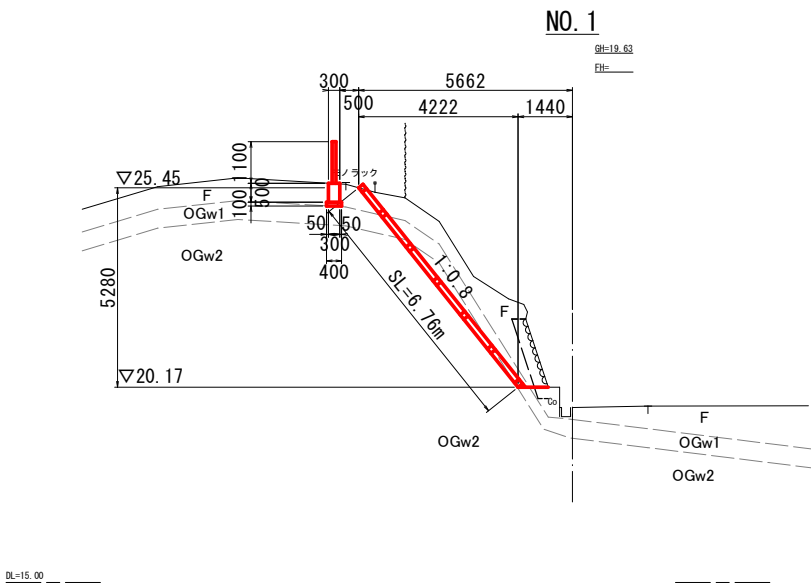
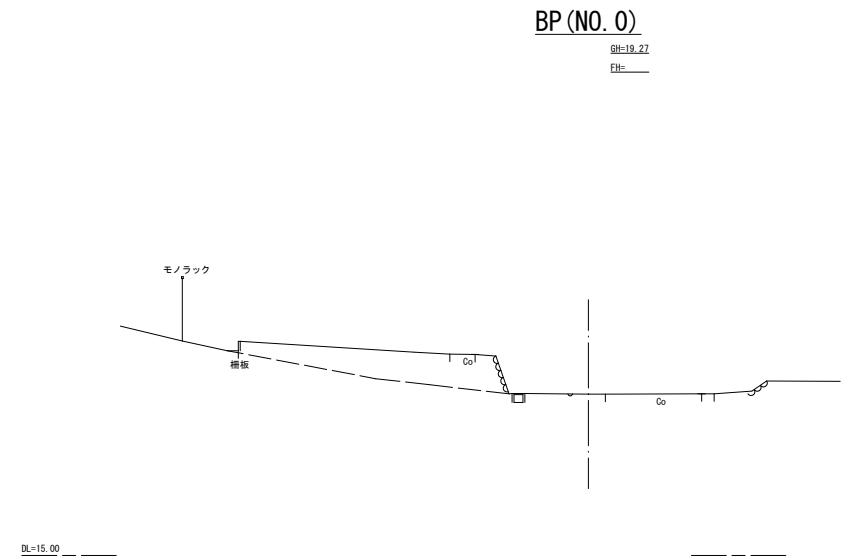
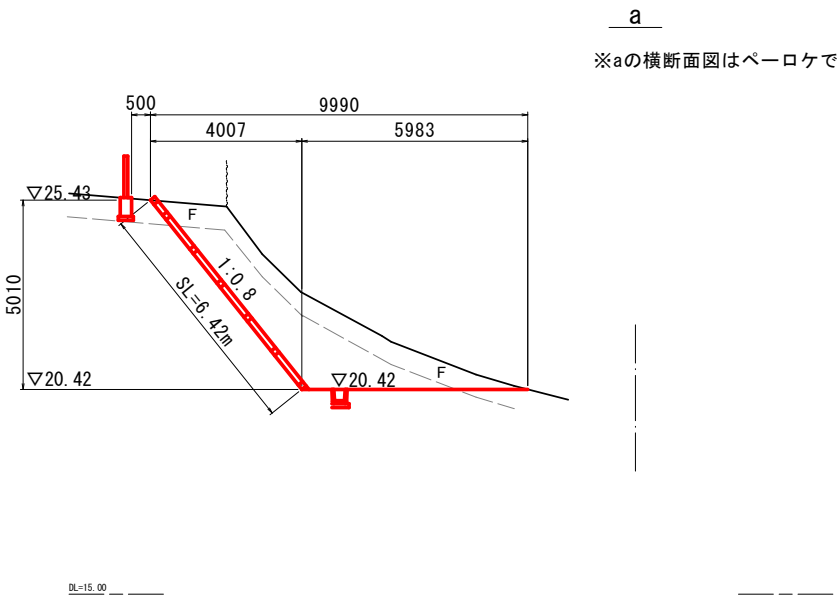
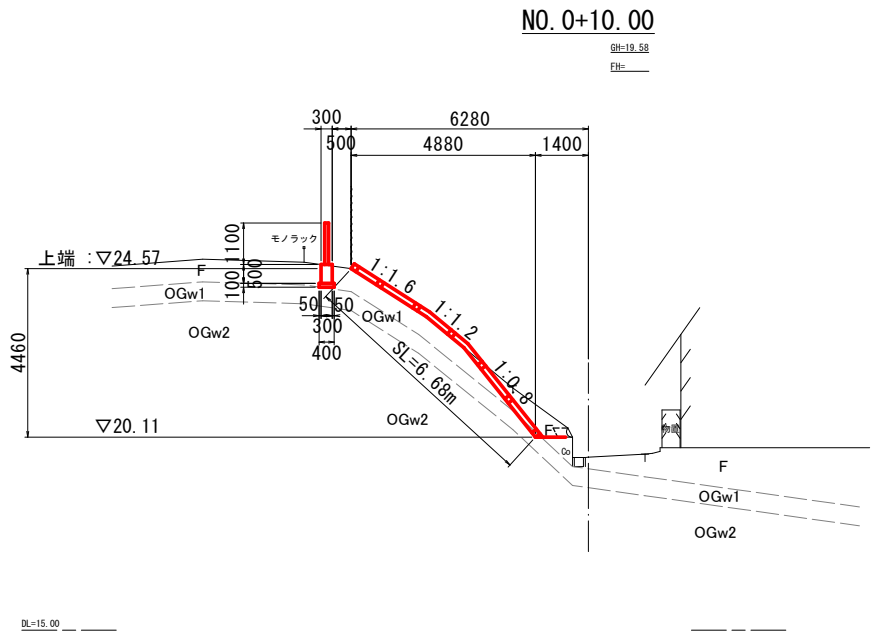
工 事 名	令和 8 年度（県費） 三輪佐護神ノ谷急傾斜地崩壊対策工		
工 事 箇 所	藤枝市 岡部町三輪 地内		
図面の種類	標準横断面図・土工定規図		
縮 尺	図 示 ()内はA3縮小時	図面番号	10 葉中
測量年月日	． ．	設計年月日	R8. 6
事 務 所 名	藤枝市 都市建設部 基盤整備局 河川課		

横断面図(1) S=1:100(1:200)

凡例

地質時代			地層名	地層名	記号	簡易動的コーン貫入試験		ボーリング調査	備考
						実測Nd値	換算N値	実測N値	
新生代	第四紀	完新世	表土	粘土・礫混じり粘土	F	1～18	1～12	※ 3～6	不安定地盤
	新第三紀	中新世	大井川層群	強風化礫岩	OGw1	11～47	7～31	13.5～50以上	安定地盤
				風化礫岩	OGw2	56～250	37～167	68.2～187.5	

※ F層のN値は10cm打撃を30cm打撃に換算

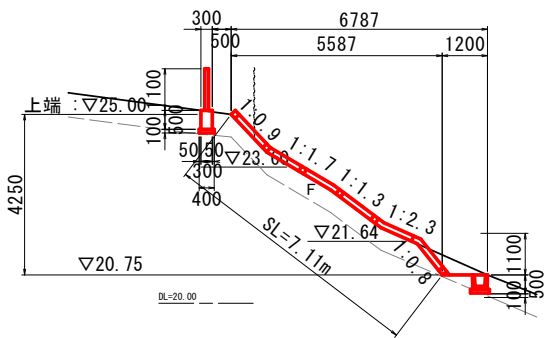


※地層境界は、各調査地点の地層分布からの推定線である。

工 事 名	令和8年度(県費) 三輪佐護神ノ谷急傾斜地崩壊対策工事		
工 事 箇 所	藤枝市 岡部町三輪 地内		
図 面 の 種 類	横断面図(1)		
縮 尺	1:100 (1:200) ()内はA3縮小時	図面番号	10 集 中 4
測量年月日		設計年月日	R8.6
事 務 所 名	藤枝市 都市建設部 基盤整備局 河川課		

横断面図(2) S=1:100(1:200)

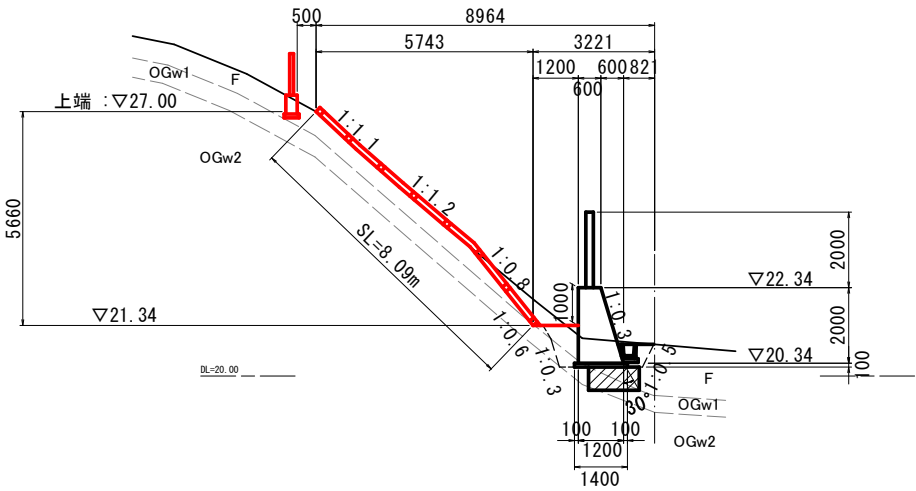
b
※bの横断面図はペーロケである。



b			
C12	0.5	砂防土工	掘削(土砂)
C22	0.0		掘削(軟岩)
N12	7.1		切土法面整形(土砂)
N22	0.0		切土法面整形(軟岩)

NO. 1+6.03

※NO. 1+6.03の横断面図はペーロケである。



NO. 1+6.03			
C12	0.9	砂防土工	掘削(土砂)
C22	0.0		掘削(軟岩)
N12	8.0		切土法面整形(土砂)
N22	0.1		切土法面整形(軟岩)

凡例

地質時代			地層名	地層名	記号	簡易動的コーン貫入試験		ボーリング調査	備考	
						実測N値	換算N値	実測N値		
新生代	第四紀	完新世	表土	粘土・ 礫混じり粘土	F	1～18	1～12	※ 3～6	不安定地盤	
	第三紀	中新世		大井川層群	強風化礫岩	OGw1	11～47	7～31	13.5～50以上	安定地盤
					風化礫岩	OGw2	56～250	37～167	68.2～187.5	

※ F層のN値は10cm打撃を30cm打撃に換算

※地層境界は、各調査地点の地層分布からの推定線である。

工 事 名	令和8年度（県費） 三輪佐護神ノ谷急傾斜地崩壊対策工事		
工 事 箇 所	藤枝市 岡部町三輪 地内		
図面の種類	横断面図(2)		
縮 尺	1：100 (1：200) ()内はA3縮小時	図面番号 10 葉中 5	
測量年月日	. . .		設計年月日 R8.6
事 務 所 名	藤枝市 都市建設部 基盤整備局 河川課		

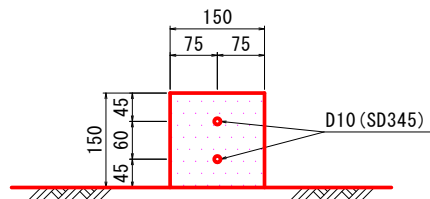
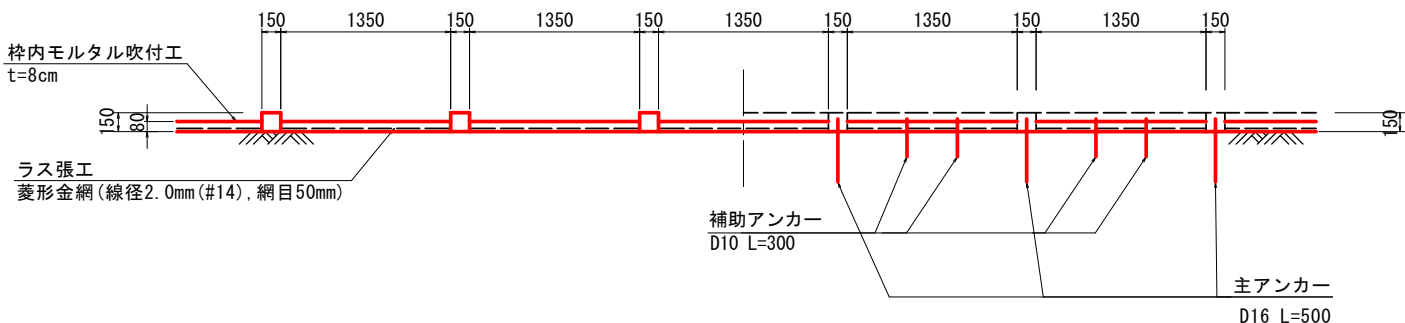
吹付枠工構造図
区間1 (BP (NO. 0) ~ IP1 (NO. 1+0. 51))

F150 1500×1150

1-1断面図 S=1:30 (1:60)

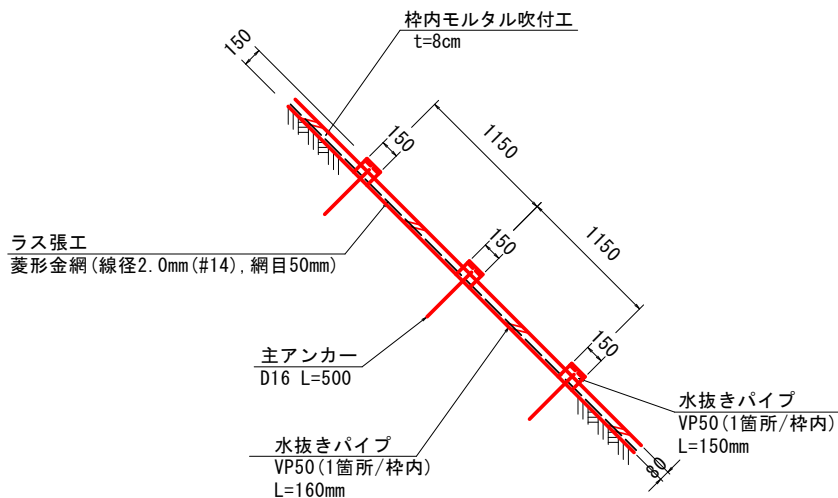
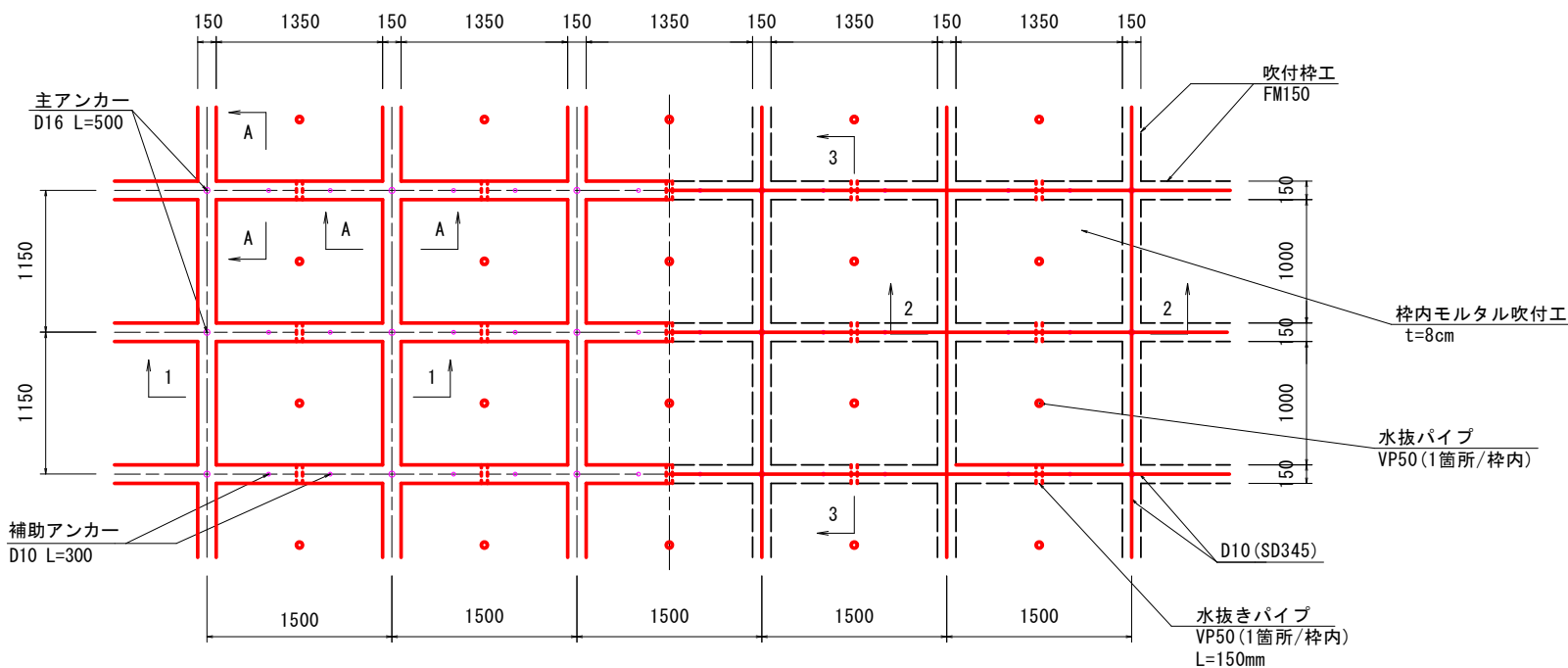
2-2断面図 S=1:30 (1:60)

A-A断面図 S=1:6 (1:12)



標準横断面図 S=1:30 (1:60)
(3-3断面図)

展開図 S=1:30 (1:60)



※水抜きパイプは、1枠内に1箇所設置を基本とし、湧水が認められる箇所には、湧水量に応じて、1枠内に2箇所以上設置する。

設計条件

	設計基準強度	水セメント比
吹付枠工	18N/mm ²	60%以下
枠内モルタル吹付工	15N/mm ² 以上	45%~60%

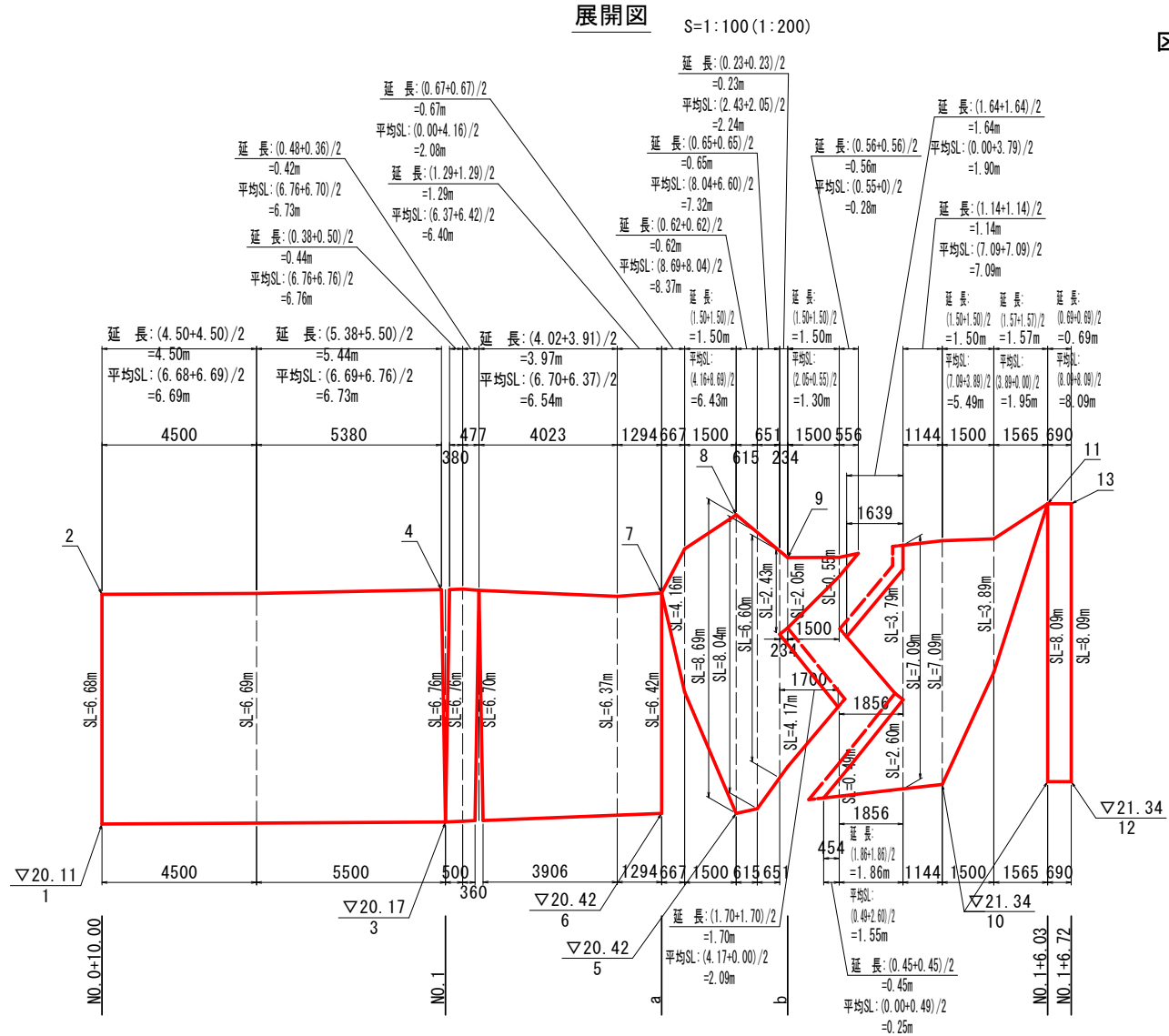
※吹付枠工の出典：のり枠工の設計・施工指針 (平成25年10月) P57, P61
※モルタル吹付工の出典：道路土工 切土工・斜面安定工指針 (平成21年度版) P302

工事名	令和8年度 (県費) 三輪佐護神ノ谷急傾斜地崩壊対策工事		
工事箇所	藤枝市 岡部町三輪 地内		
図面の種類	吹付枠工構造図		
縮尺	図示 ()内はA3縮小時	図面番号	10 集中 6
測量年月日		設計年月日	R8. 6
事務所名	藤枝市 都市建設部 基盤整備局 河川課		

吹付枠工展開図

区間1 (BP (NO. 0) ~ IP1 (NO. 1+0.51))

F150 1500×1150



・吹付枠工 (梁150×150, 枠スパン1500×1150)

施工延長 L=4.50+5.44+0.44+0.42+3.97+1.29+0.67+1.50+0.62+0.65+0.23+1.50+0.56+1.70+1.64+0.45+1.86+1.14+1.50+1.57+0.69=32.34(m)
面積 A1=4.50×6.69+5.44×6.73+0.44×6.76+0.42×6.73+3.97×6.54+1.29×6.40+0.67×2.08+1.50×6.43+0.62×8.37+0.65×7.32+0.23×2.24+1.50×1.30+0.56×0.28+1.70×2.09+1.64×1.90+0.45×0.25+1.86×1.55+1.14×7.09+1.50×5.49+1.57×1.95+0.69×8.09=164.95(m2)

縦枠: $H \times \{(L-W)/B+1\} = 5.10 \times \{(32.34-0.15)/1.50+1\} = 114.55(m)$

横枠: $b \times \{(L-W)/B\} \times \{(H-W)/A+1\} = 1.35 \times \{(32.34-0.15)/1.50\} \times \{(5.10-0.15)/1.15+1\} = 153.67(m)$

H: 縦枠長さ=A1/L=164.95/32.34=5.10(m)

W: 枠断面幅=0.15(m)

B: 横枠スパン長=1.50(m)

b: 横枠枠内長=1.35(m)

A: 縦枠スパン長=1.15(m)

a: 縦枠枠内長=1.00(m)

枠延長 (L1) : =114.55+153.67=268.22(m)

・ラス張

面積 A1=164.95(m2)

・枠内モルタル吹付 (厚8cm)

枠内面積: A1-L1×0.15=164.95-268.22×0.15=124.72(m2)

・水抜パイプ (VP50)

$A1 \div (1.5 \times 1.15) \times (0.16+0.15) = 164.95 / (1.5 \times 1.15) \times (0.16+0.15) = 29.64(m)$

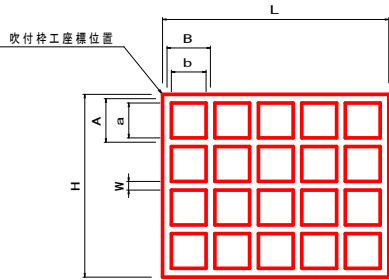
吹付枠工 数量表
区間1 (BP (NO. 0) ~ IP1 (NO. 1+0.51))

種 別	数 量	摘 要
枠	268 m	1式当り 梁断面150×150
ラス張	165 m2	
枠内モルタル吹付	125 m2	t=8cm
水抜パイプ	30 m	VP50

吹付枠工座標リスト
区間1 (BP (NO. 0) ~ IP1 (NO. 1+0.51))

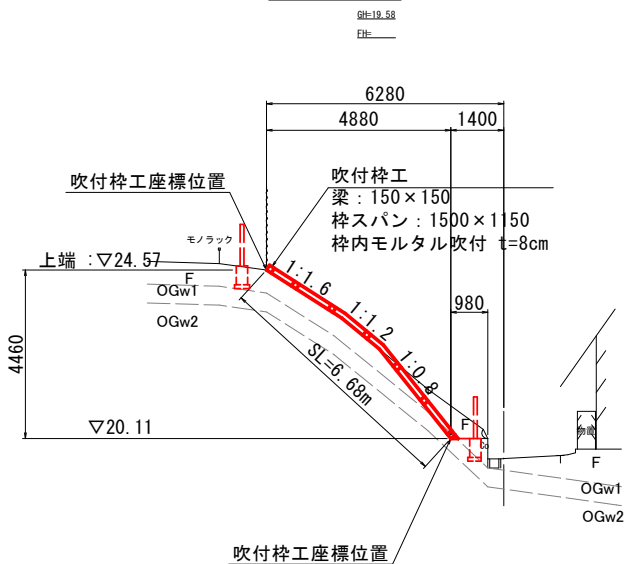
番号	X座標	Y座標
1	1001.415	1062.951
2	1004.732	1059.371
3	1008.779	1069.717
4	1011.648	1066.620
5	1010.552	1076.895
6	1013.272	1073.784
7	1015.908	1070.767
8	1016.413	1073.154
9	1016.077	1075.166
10	1014.095	1082.446
11	1019.797	1081.748
12	1014.179	1083.131
13	1019.881	1082.433

※吹付枠工の座標位置は、吹付枠工の外側端部を示している(右図参照)。
※平面図と実際の地形は異なっている可能性があるため、吹付枠工は切土後の法面に合わせて施工すること。



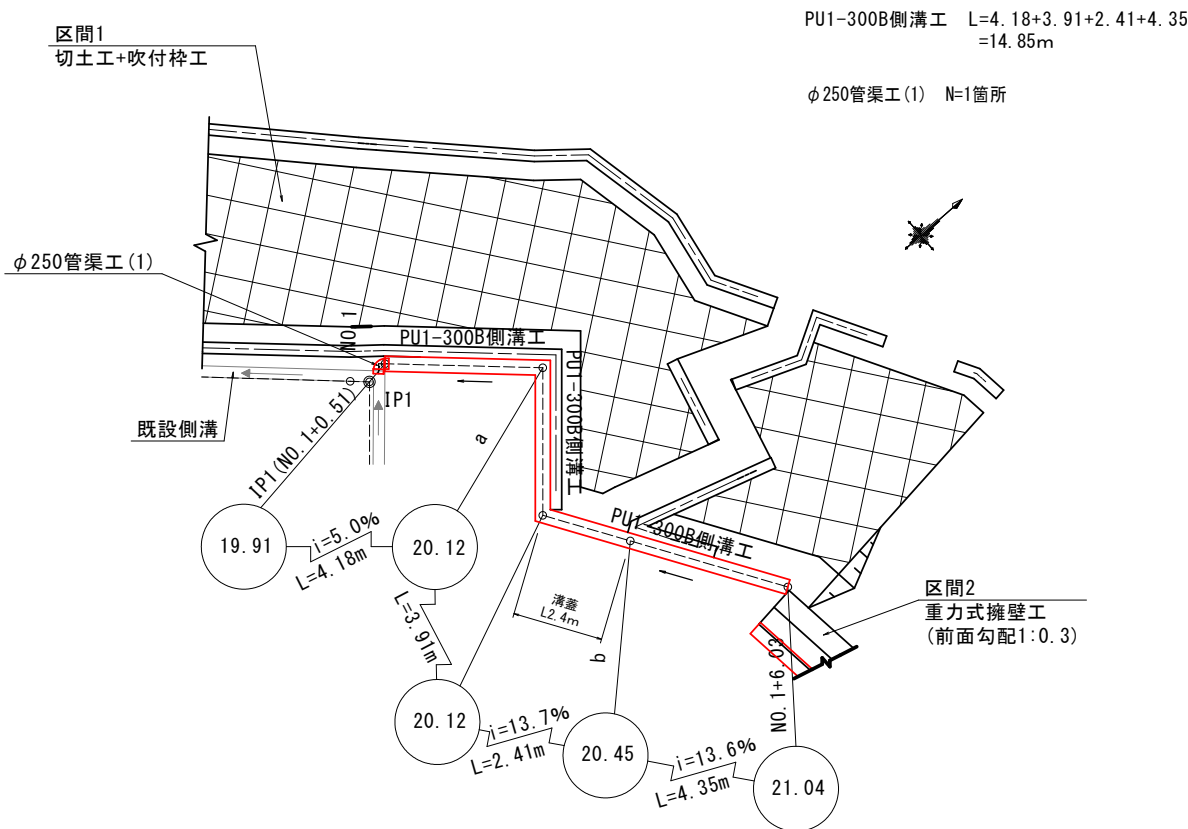
標準横断面図 S=1:100 (1:200)

NO. 0+10.00



排水工詳細図 S=1:100 (1:200)

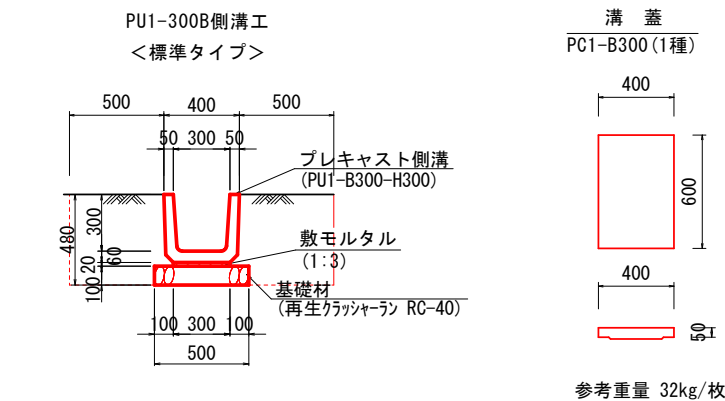
区間1 (BP (NO. 0) ~ IP1 (NO. 1+0.51))



排水工構造図

側溝工

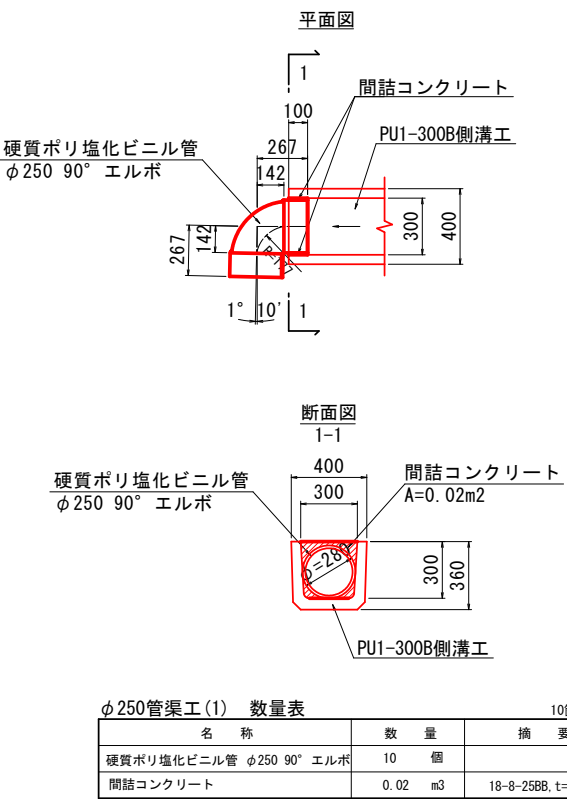
PU1-300B側溝工 S=1:20 (1:40)



PU1-300B側溝工 数量表			10m当り
種 別	数 量	摘 要	
側 溝	10 m	JIS A 5372 300B	
敷モルタル	0.06 m3	1:3	
基 礎 材	5.0 m2	RC-40 t=100	
作業土工			
床 掘	6.7 m3	小規模土工（粘性土）	
埋 戻	4.8 m3	現場発生土（粘性土）	

管渠工

φ250管渠工(1) S=1:20 (1:40)
硬質ポリ塩化ビニル管

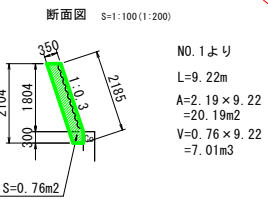


工 事 名	令和8年度(県費) 三輪佐護神ノ谷急傾斜地崩壊対策工事		
工 事 箇 所	藤枝市 岡部町三輪 地内		
図 面 の 種 類	排水工詳細図・排水工構造図		
縮 尺	図 示 ()内はA3縮小時	図面番号 10 集 中 8	
測 量 年 月 日	.	設 計 年 月 日	R8.6
事 務 所 名	藤枝市 都市建設部 基盤整備局 河川課		

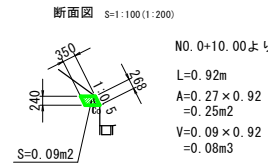
構造物撤去工詳細図

平面図 S=1:500 (S=1:1000)

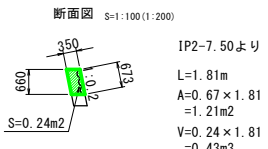
(B) 既設石積取壊し
L=9.22m



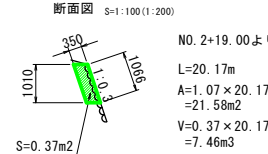
(A) 既設石積取壊し
L=0.92m



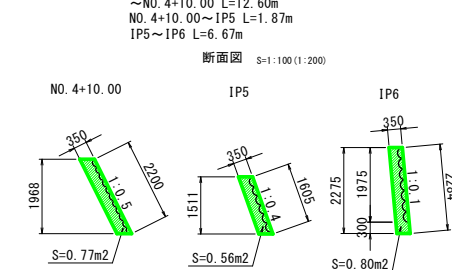
(C) 既設石積取壊し
L=1.81m



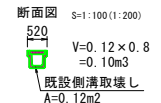
(D) 既設石積取壊し
L=20.17m



(E) 既設石積取壊し
L=21.14m



(B) 既設側溝取壊し
L=0.8m



(C) 既設側溝取壊し



※既設側溝底版厚寸法は、推定による。

As舗装版取壊し (t=5cm)

A=0.8m²

As舗装版切断 (t=5cm)

L=2.6m

コンクリート舗装版切断

L=37.2m

コンクリート舗装版取壊し

A=20.0m²

※コンクリート舗装厚は、t=5cmと推定。

(A) 既設側溝取壊し
L=0.8m



※既設側溝底版厚寸法は、推定による。

コンクリート舗装版切断

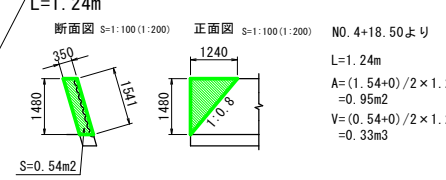
L=10.0m

コンクリート舗装版取壊し

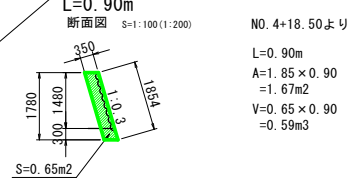
A=5.6m²

※コンクリート舗装厚は、t=5cmと推定。

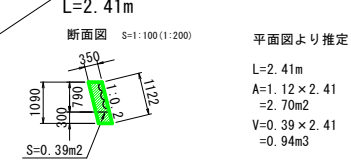
(F) 既設石積取壊し
L=1.24m



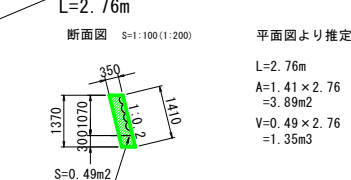
(G) 既設石積取壊し
L=0.90m



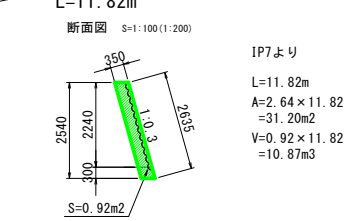
(H) 既設石積取壊し
L=2.41m



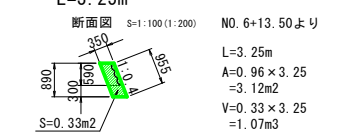
(I) 既設石積取壊し
L=2.76m



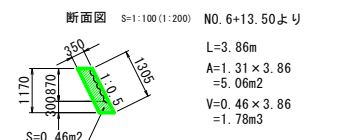
(J) 既設石積取壊し
L=11.82m



(K) 既設石積取壊し
L=3.25m



(L) 既設石積取壊し
L=3.86m



構造物撤去 数量表

名称	規格	算式	単位	数量	摘要
コンクリート取壊し	鉄筋	0.03+0.10+0.53=0.66	m ³	1	既設側溝 (区間6)
石積取壊し	無筋	既設石積(A)~(F), (K), (L) 0.25+20.19+1.21+21.58+27.72+3.56+12.97 +0.95+3.12+5.06=96.61	m ²	97	既設石積(A)~(F), (K), (L) (区間1, 3, 6) V=0.08+7.01+0.43+7.46+9.70+1.24+4.54 +0.33+1.07+1.78=33.64m ³
		既設石積(G)~(J) 1.67+2.70+3.89+31.20=39.46	m ²	39	既設石積(G)~(J) (区間4, 5) V=0.59+0.94+1.35+10.87=13.75m ³
舗装版切断	As, t=5cm	2.6	m	3	(区間6)
舗装版取壊し	As, t=5cm	0.8	m ²	1	V=2.6×0.05=0.13m ³ (区間6)
舗装版切断	Con, t=5cm	10.0+37.2=47.2	m	47	(区間6)
舗装版取壊し	Con, t=5cm	5.6+20.0=25.6	m ²	26	無筋 V=25.6×0.05=1.28m ³ (区間6)

※既設ブロック積および既設石積みの取壊し延長は、上下端の延長の平均で算出。
※既設ブロック積および既設石積みの根入れは、30cmと想定。
※実際の既設構造物寸法が図面と異なる場合は、実際の寸法に合わせて取壊し数量を変更すること。

工事名	令和8年度(県費) 三輪佐護神ノ谷急傾斜地崩壊対策工事
工事箇所	藤枝市 岡部町三輪 地内
図面の種類	構造物撤去工詳細図
縮尺	図示 ()内はA3縮小時
図面番号	10 集中 9
測量年月日	設計年月日 R8.6
事務所名	藤枝市 都市建設部 基盤整備局 河川課

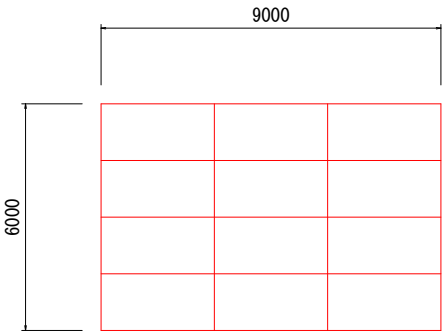
仮設工図

仮設工平面図(参考図) S=1:250 (S=1:500)

施工ヤード (A)

S=1:100 (1:200)

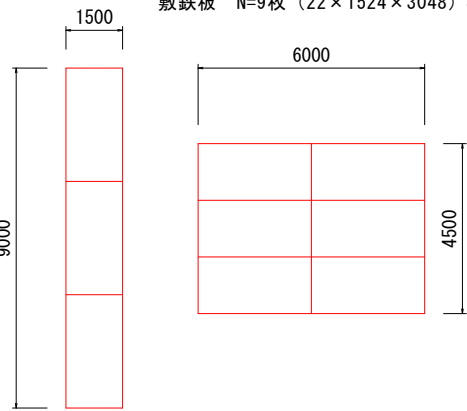
敷鉄板 N=12枚 (22×1524×3048) 802kg/枚



工事用車両回転ヤード (A)

S=1:100 (1:200)

敷鉄板 N=9枚 (22×1524×3048) 802kg/枚



仮設モルタル吹付t=3cm
A=24.6m²
平均切土法面勾配: (0.30+0.60)/2=0.45
平面図上の面積: S=10.1m²
法面上の面積: A=10.1×√1+0.45²/0.45
=24.6m²

仮設工 数量表

名 称	算 式	単位	数量	摘 要
仮設防護柵工	28.0+38.2+27.0+70.1=163.3	m	163	区間1, 区間3, 区間6
	12.2+15.9=28.1	m	28	区間4～区間5
仮 囲 い	10.0+27.8=37.8	m	38	区間3, 区間6
	21.5+18.2+12.8=52.5	m	53	区間4～区間5
(A) 工事用道路	66.5	m	67	区間1, 区間3
	大型土のう製作・据付・撤去	袋	10	
(B) 工事用道路	敷鉄板設置・撤去	m ²	223	22×914×1829 N=134枚
	70.9	m	71	区間4～区間5
	大型土のう製作・据付・撤去	袋	14	
	敷鉄板設置・撤去	m ²	13	22×914×1829 N=3+3+2=8枚
	仮設モルタル吹付工	m ²	24	t=3cm
	仮設モルタル吹付撤去	m ³	1	無筋
(C) 工事用道路	コンクリート殻処理	m ³	1	無筋
	47.3	m	47	区間6

※施工ヤードの位置は、参考である。実際の施工に当たっては、借地の可否や施工者が立案する施工計画に
応じて適宜変更すること。
※工事用道路の幅員は、3.0mを基本とし、3.0mの確保が困難な箇所は確保可能な最大幅員とする。
※区間2～区間3の工事用道路は、工事用車両のトラフィカビリティが確保できる場合は、敷鉄板を設置する必要はない。

大型土のう 材料表

名 称	規 格	算 式	単位	数量	摘 要
大型土のう袋材	耐候性大型土のう 2.0t用	10.00	袋	10	
中詰材	砂質土	1.00×10.00	m ³	10	

※必要に応じて結束ベルト等で拘束し、木杭等で固定すること。

凡 例

- 仮設防護柵工
- 仮 囲 い
- 工事用道路